

中期経営計画 **SZ-20** の進捗状況

2013年 5月 9日

日本ゼオン株式会社

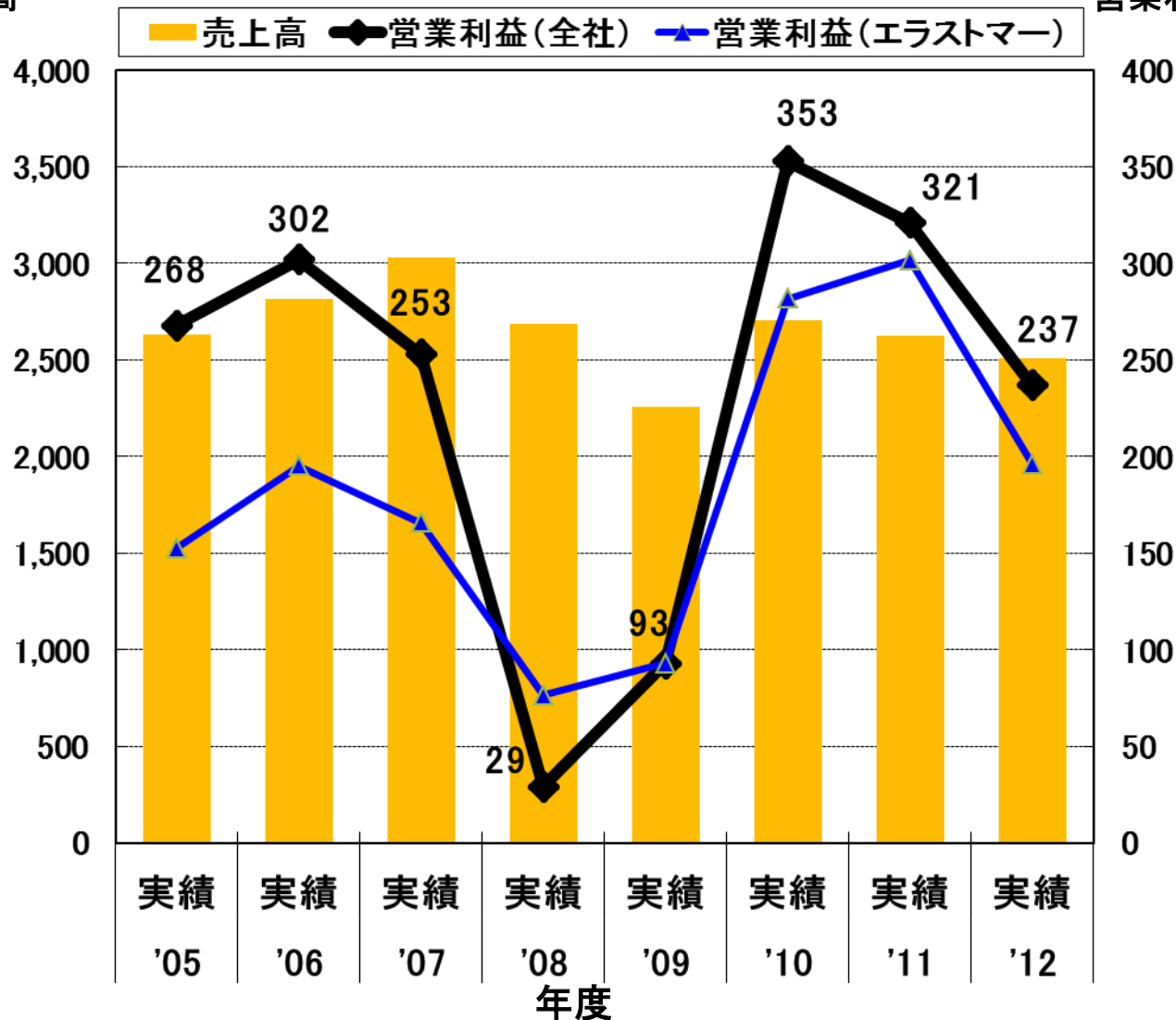
代表取締役社長 古河 直純

- I. 前年度業績と経営環境
- II. 中期経営計画 **SZ-20**
- III. 事業トピックス
- IV. 業績目標

連結業績推移

(億円)
売上高

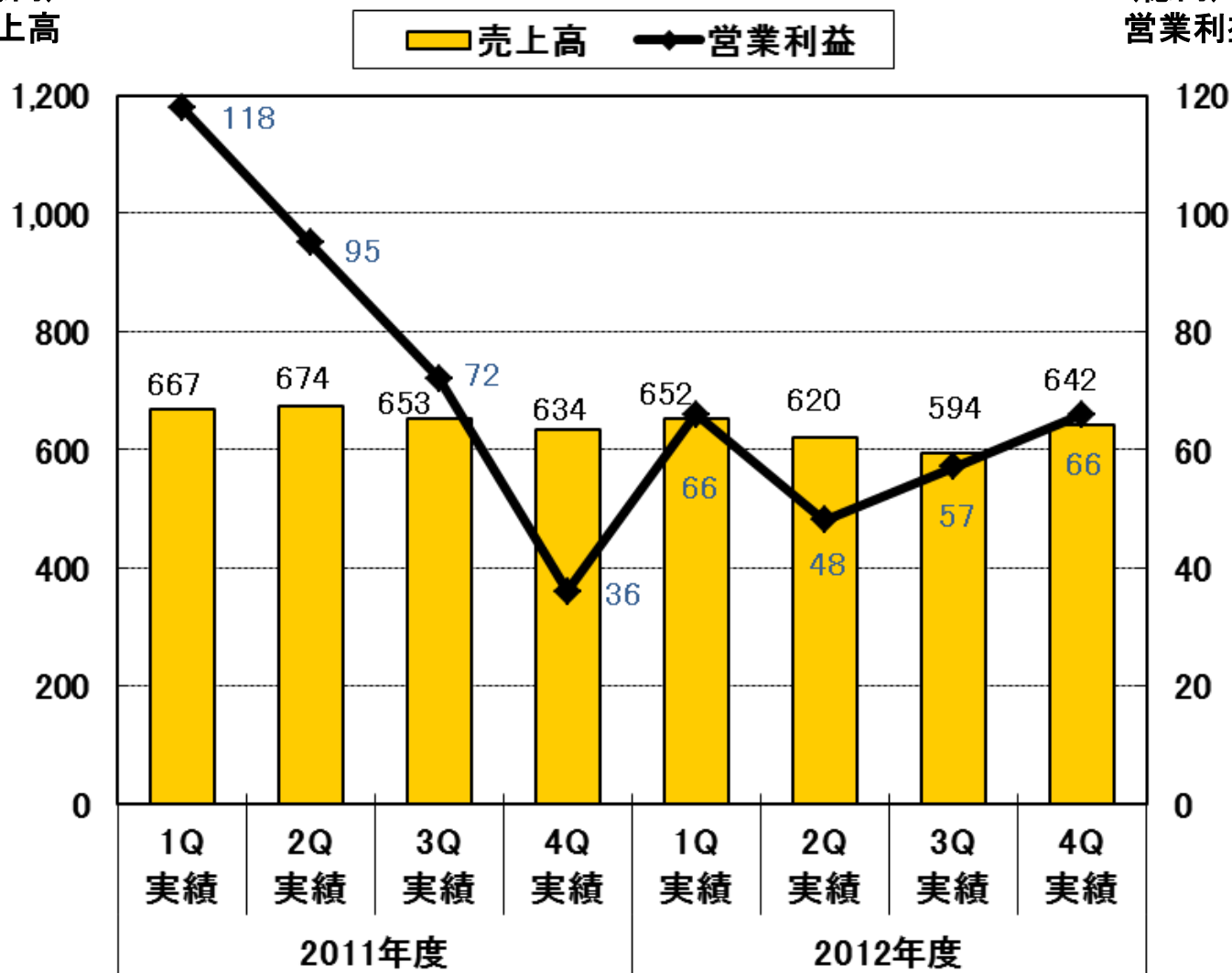
(億円)
営業利益



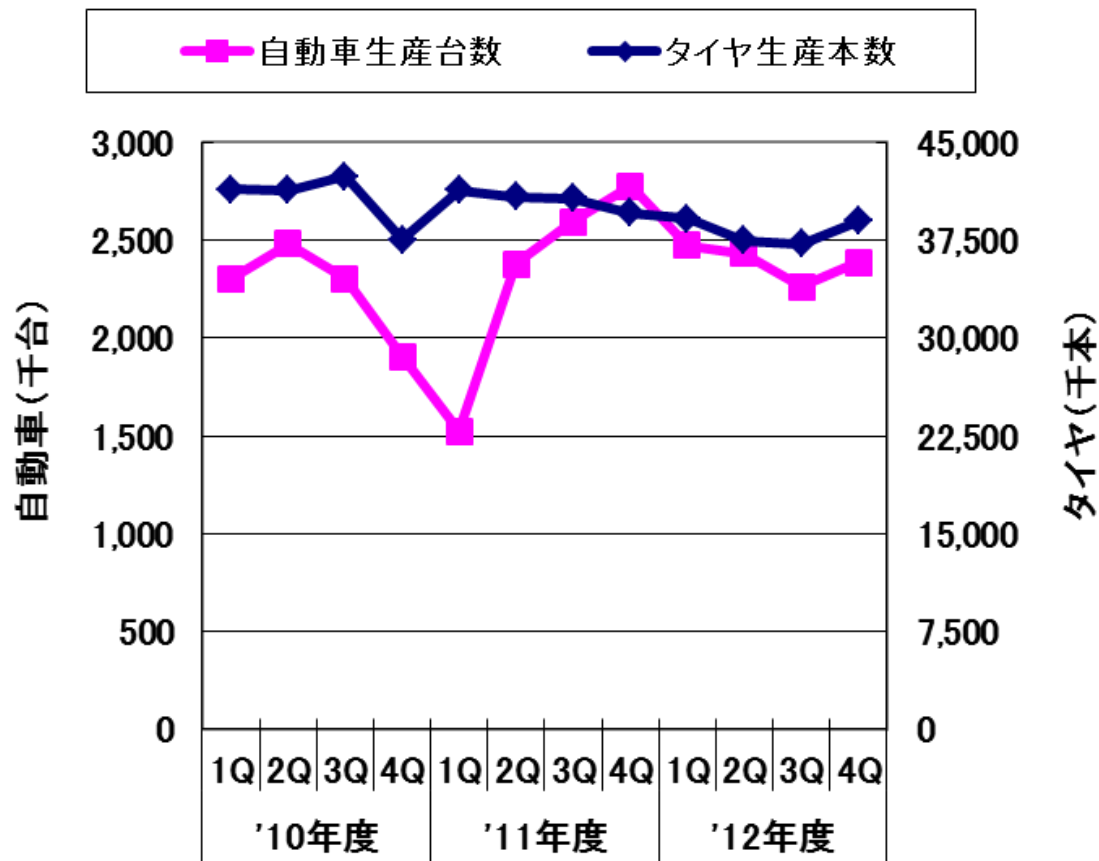
連結業績推移(四半期毎)

(億円)
売上高

(億円)
営業利益

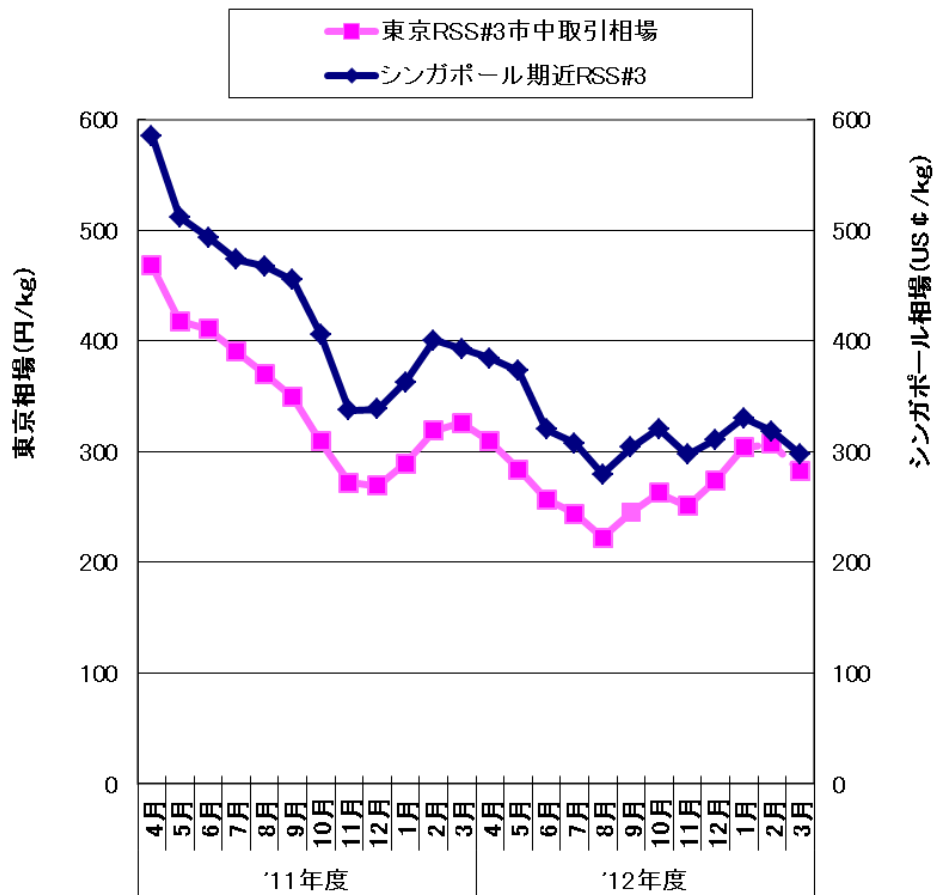


国内 自動車・タイヤ生産量



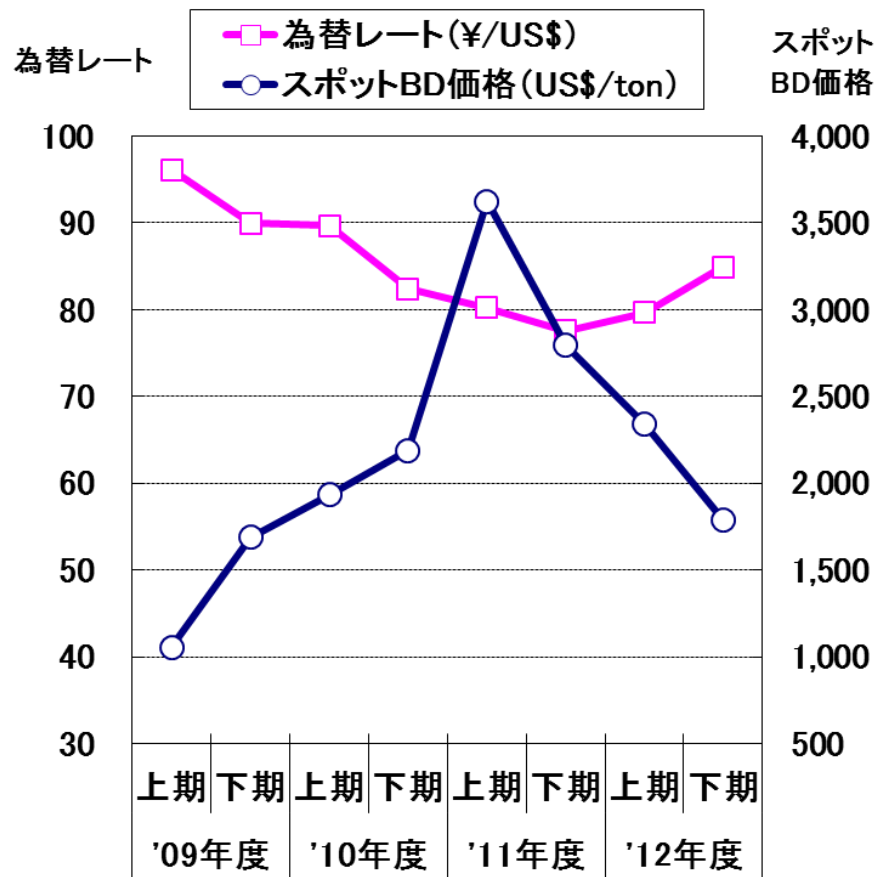
(出典: 日本自動車工業会、
日本自動車タイヤ協会)

天然ゴム市況



(出典: 合成ゴム月報)

為替とブタジエン市況



(ブタジエン市況_アジアスポット市況)

SZ-20

2011～2013年度までの
実行計画に展開

重要な
価値観

スピード

対話

社会貢献

大切にする
ゼオンらしさ

-仲間との
相互信頼-

2020年のありたい姿

- 化学の力で

未来を今日にする

ZEON -

わたしたちゼオンは、お客様の夢と
快適な社会の実現に貢献し続けます。

エラストマー素材事業と高機能材料事業のそれぞれの強みを磨き上げ、両輪でグローバルに事業を拡大する

2020年度連結売上高5,000億円

2020年度海外生産高比率50%

事業セグメント別戦略

エラストマー素材事業

成長市場への
グローバルな対応による
強い事業の更なる強化

高機能材料事業

重点3事業分野での
研究開発の加速による
事業拡大

事業セグメント別戦略

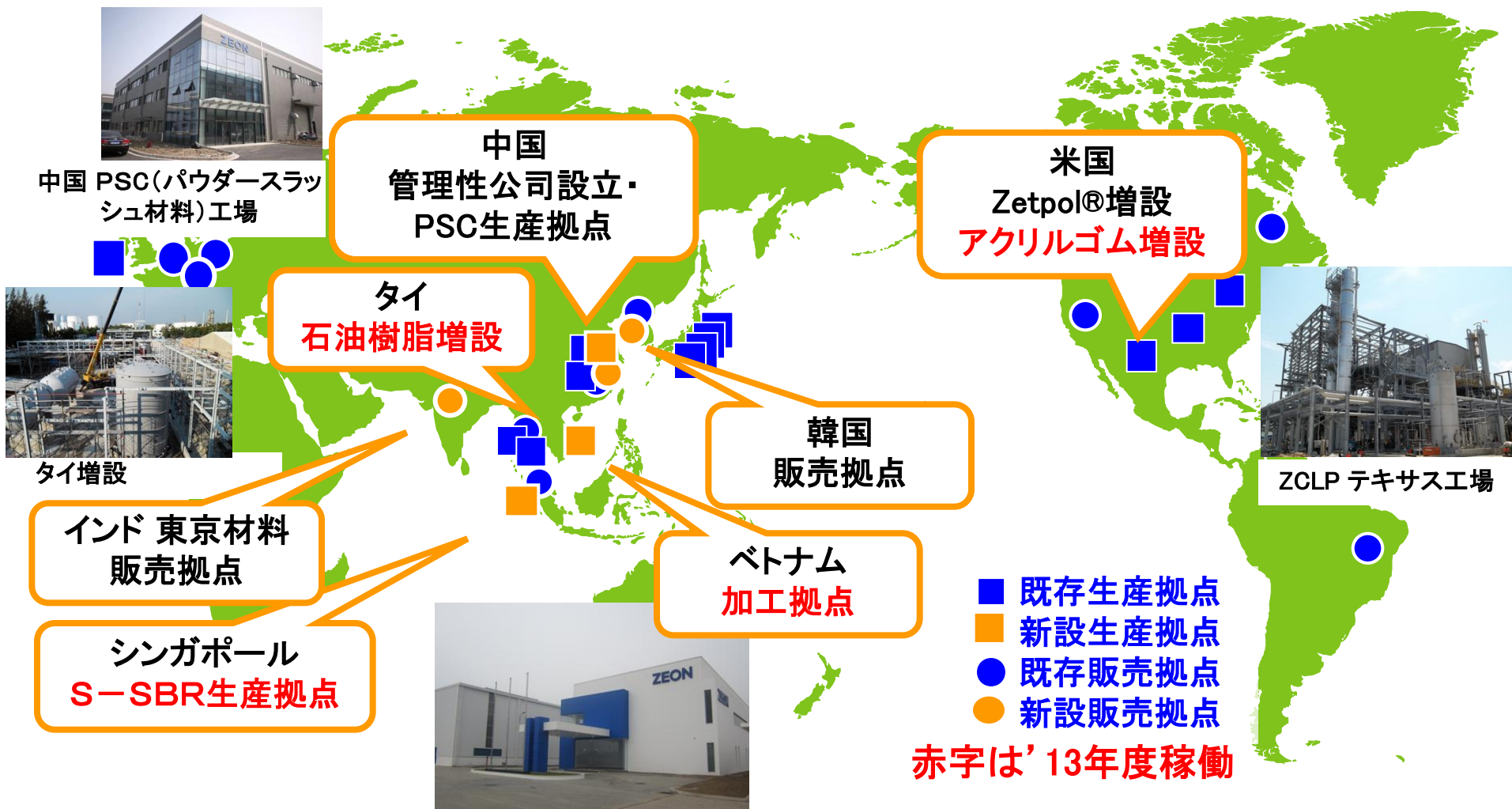
エラストマー素材事業

成長市場への
グローバルな対応による
強い事業の更なる強化

高機能材料事業

重点3事業分野での
研究開発の加速による
事業拡大

成長市場へのグローバルな対応による強い事業の更なる強化



高機能化する自動車材料への対応

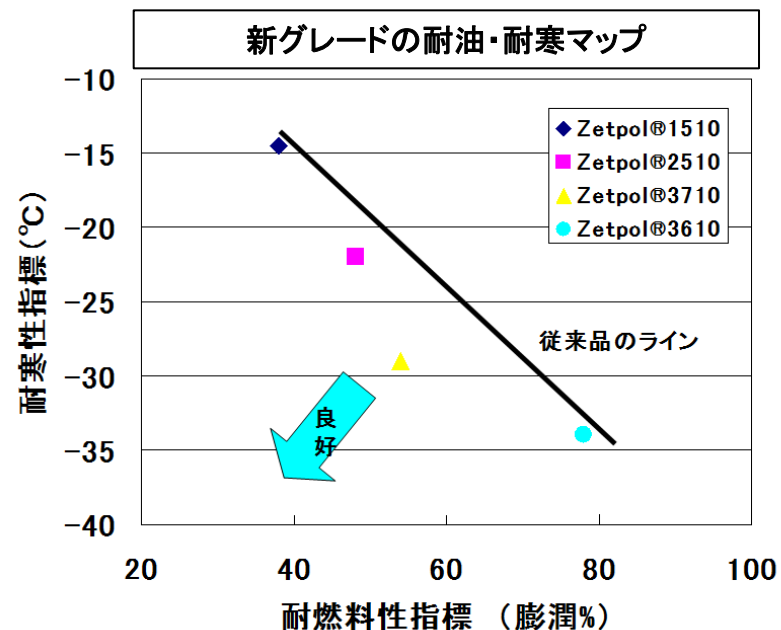
1. 新規設備の稼働（当社川崎工場内）

2013年3月より本格商業生産を開始



2. 新製品の開発

多様な用途に対応すべく4グレードを開発

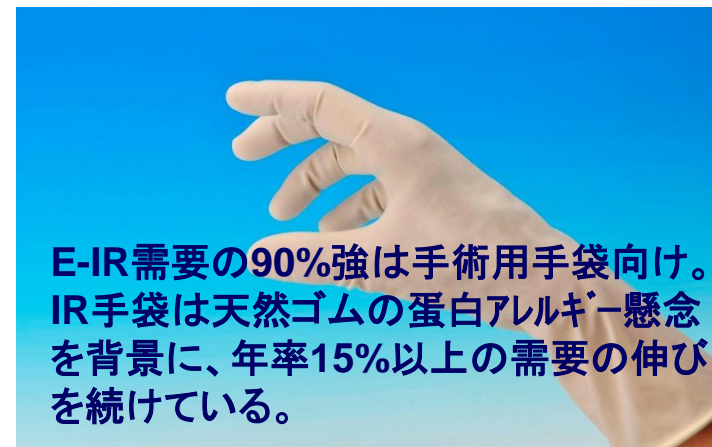
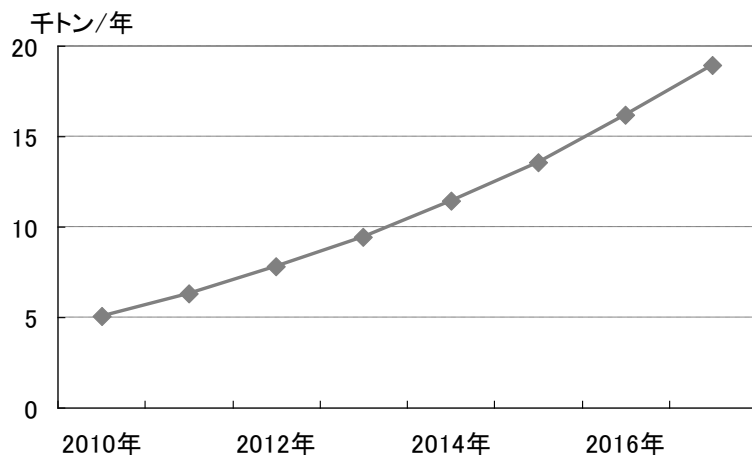


3. 新グレード 開発中の用途



E-IRの製品化に成功、手術用手袋向け等に販売拡大

手術用手袋市場規模(E-IR数量換算/当社推定)



- 本年2月、Nipol®ME1100を上市
手術用手袋生産顧客(国内外)に供給開始
- 本年度中にOEM先での設備増強を行い、供給能力を拡大する
- 市場の伸びに合わせ、さらなる設備増強、新設を検討していく



事業セグメント別戦略

エラストマー素材事業

成長市場への
グローバルな対応による
強い事業の更なる強化

高機能材料事業

重点3事業分野での
研究開発の加速による
事業拡大

高機能材料事業の重点3事業分野

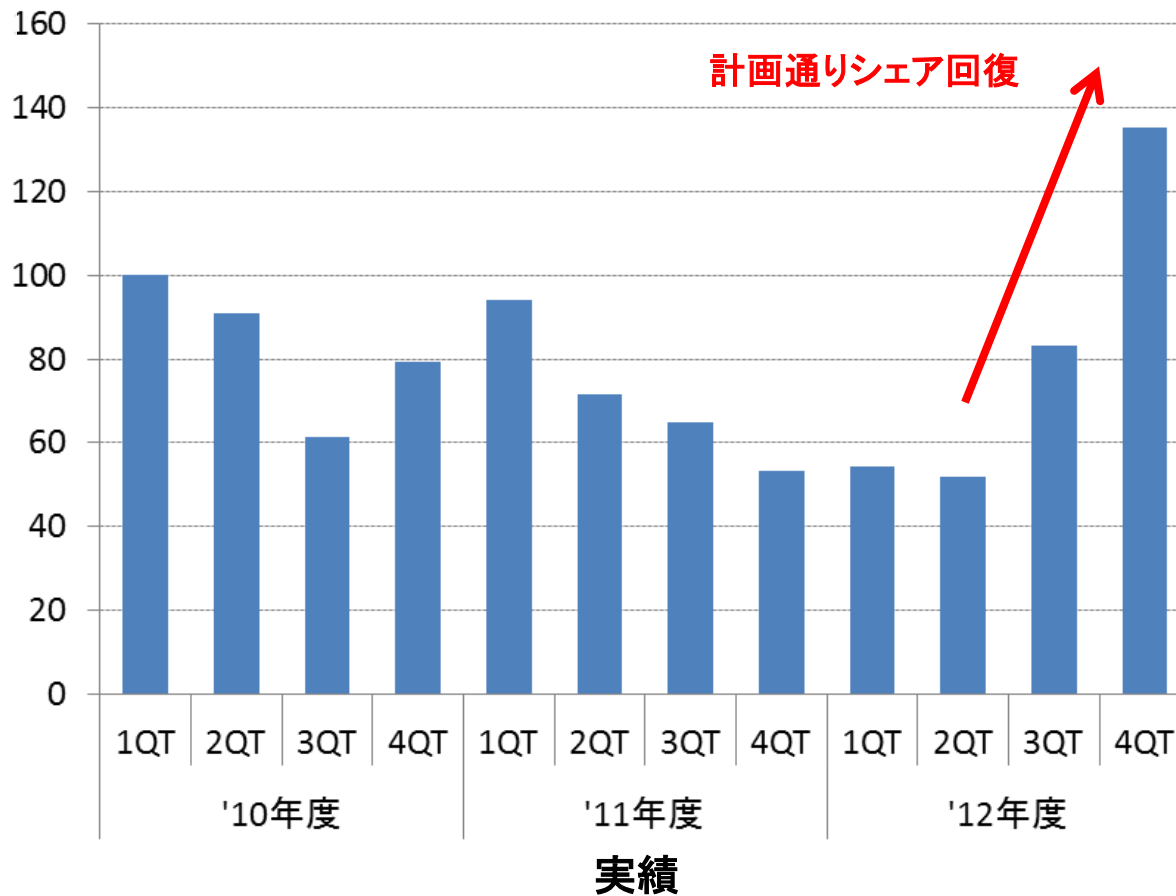
情報用部材
(オプト用) (実装用) (電子用)

エネルギー用部材

メディカルデバイス

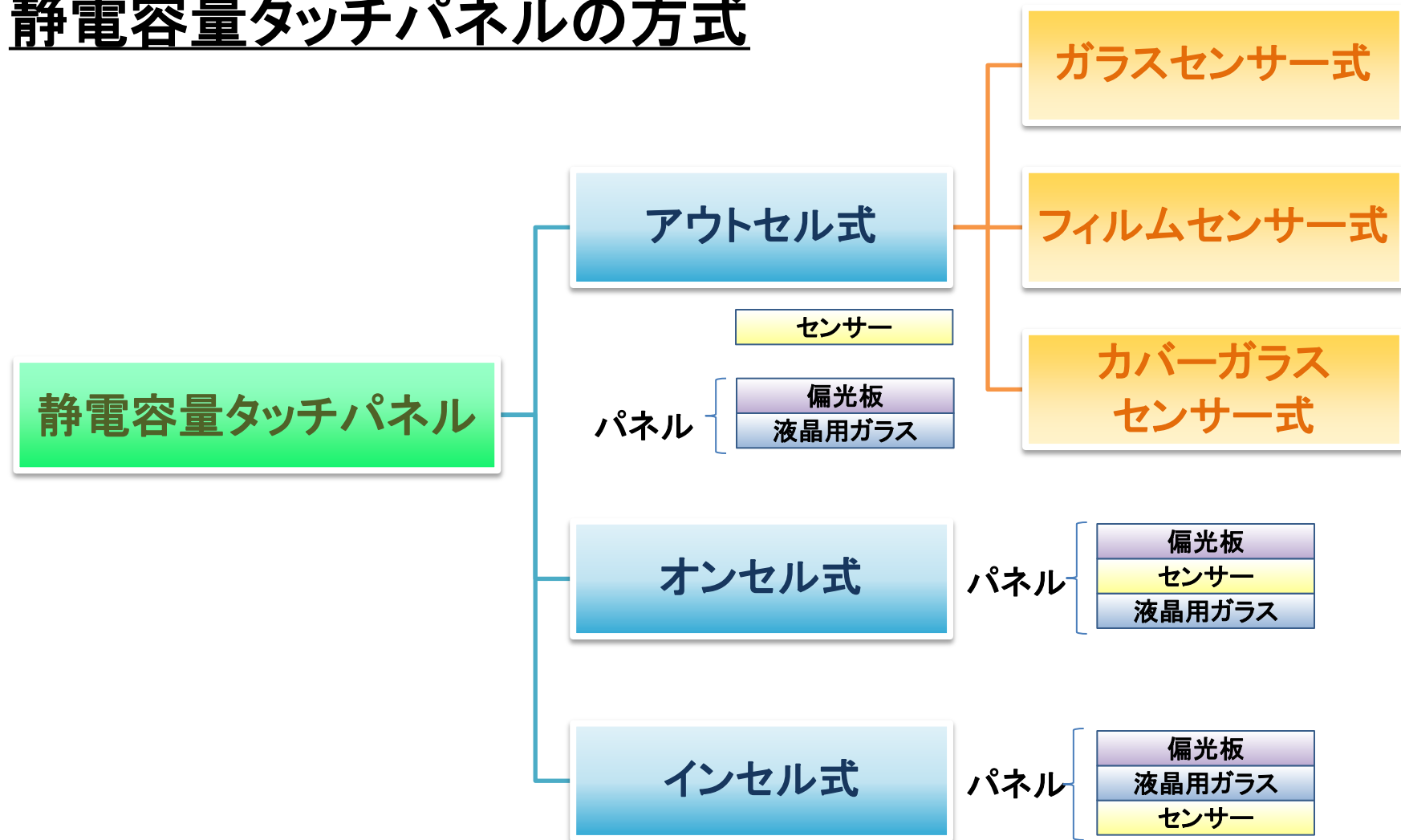
高機能素材

当社光学フィルムの販売数量推移

販売数量
(指数)

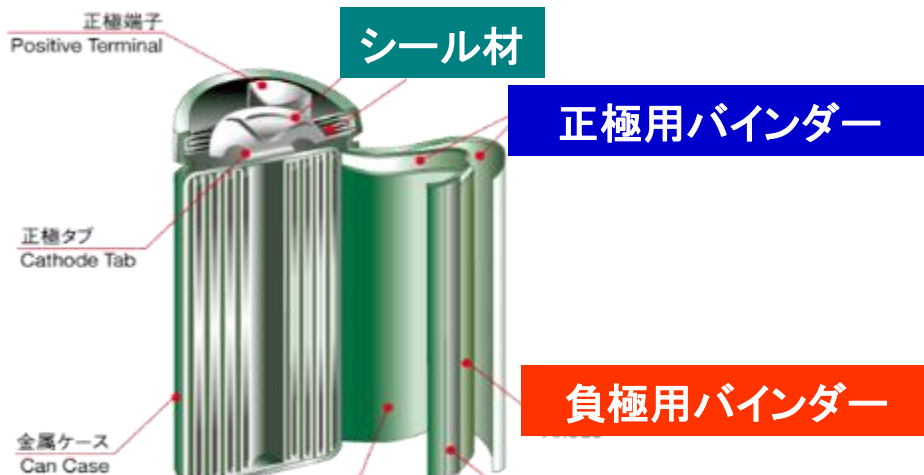
※ 指数は'10年度1Qの販売数量を100とした場合

静電容量タッチパネルの方式



エネルギー材料事業は、製品群を拡大させ、当初目標を上回り順調に事業拡大

ゼオンのリチウムイオン電池向け製品



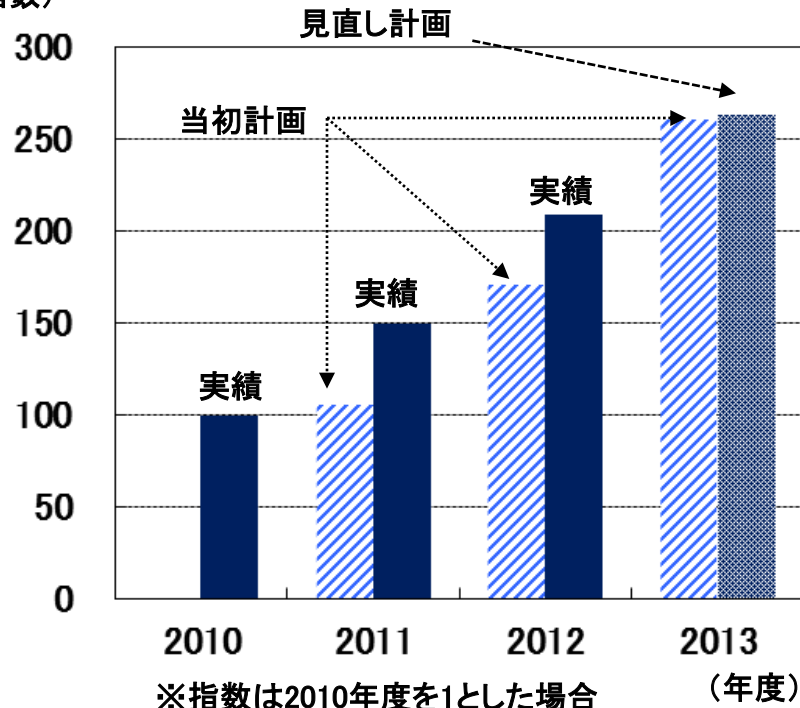
機能層用材料

安全性
寿命特性
注液性

などを向上させる
機能層(多孔層)
用材料

ゼオンの電池材料売上

売上高
(指数)



*製品群の拡大により、2012年度市場成長率約10%(出典:B3)を上回り事業拡大中

胆管ステント品揃えによりシェア向上

胆管ベアメタルステント

「ゼオステントプラス」

屈曲部の開存効果
が高いステント形状

胆管カバードステント

「ゼオステントカバード」



1cm刻みの品揃えでステント選択可能

経皮用デリバリーカテーテル
(手元部分)



内視鏡用
デリバリーカテーテル

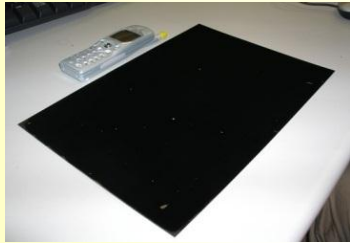
ゼオステントの特長

- ベアメタルステント・カバードステント共に内視鏡用・経皮用の品揃え
- レーザーカットタイプのためショートニングしにくい(留置しやすい)
- ステントが柔軟で胆管への刺激が少ない

カーボンナノチューブ(CNT) サンプル製造、サンプル提供を開始

カーボンナノチューブ事業の取り組み(CNT製造)

NEDO
CNTキャパシタ開発PJ成果
基板大面積化

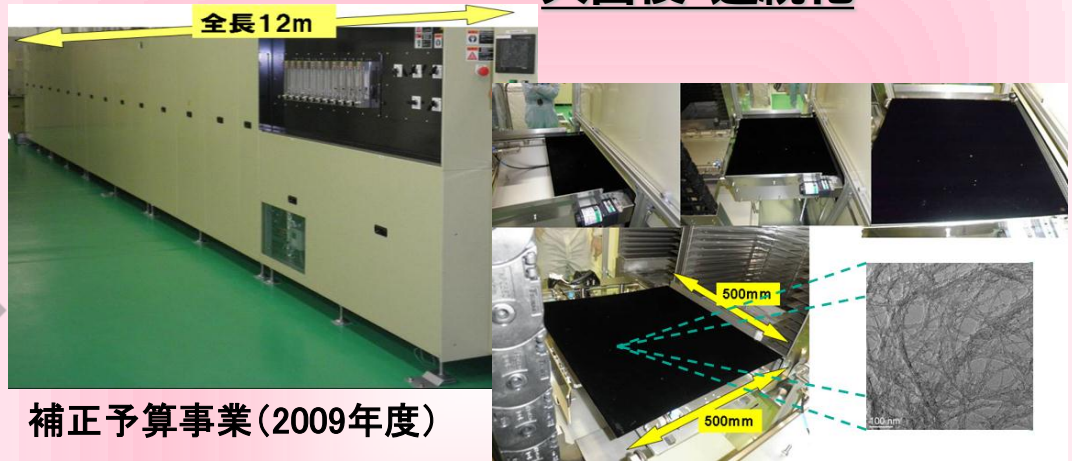


連続合成技術



スーパーグローブ法CNT実証プラント

大面積・連続化



補正予算事業(2009年度)

2011年度～ 産業技術総合研究所(産総研)共同事業
量産技術開発、少量サンプル提供

2012年度～ **日本ゼオン独自での製造開始**

産業化を見据えたサンプル提供
(B to Bによる事業化促進)

カーボンナノチューブ(CNT) 用途開発を加速

カーボンナノチューブ事業の取り組み(CNT用途開発)

CNT用途開発

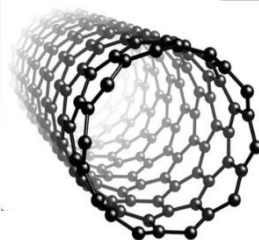
単層カーボンナノチューブ融合
新材料実用化技術研究組合
(TASC)

理事長:

日本ゼオン(株) 取締役社長
古河直純

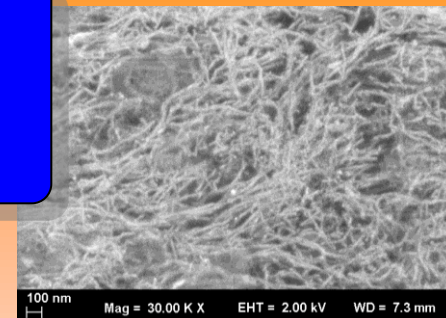
CNT事業 参加企業

産業技術総合研究所、東レ株式会社、
日本電気株式会社、帝人株式会社、
住友精密工業株式会社
日本ゼオン株式会社



◆単層CNT分散技術

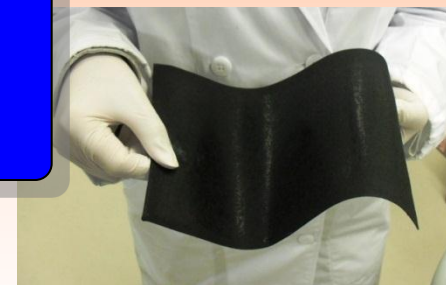
ゴム、樹脂中にCNTを均一に分散
可能な技術を確立



ゴム複合体 SEM像

◆高熱伝導材料

90W/m・Kの高い熱伝導性を示す、
ゴム/CNT複合材料

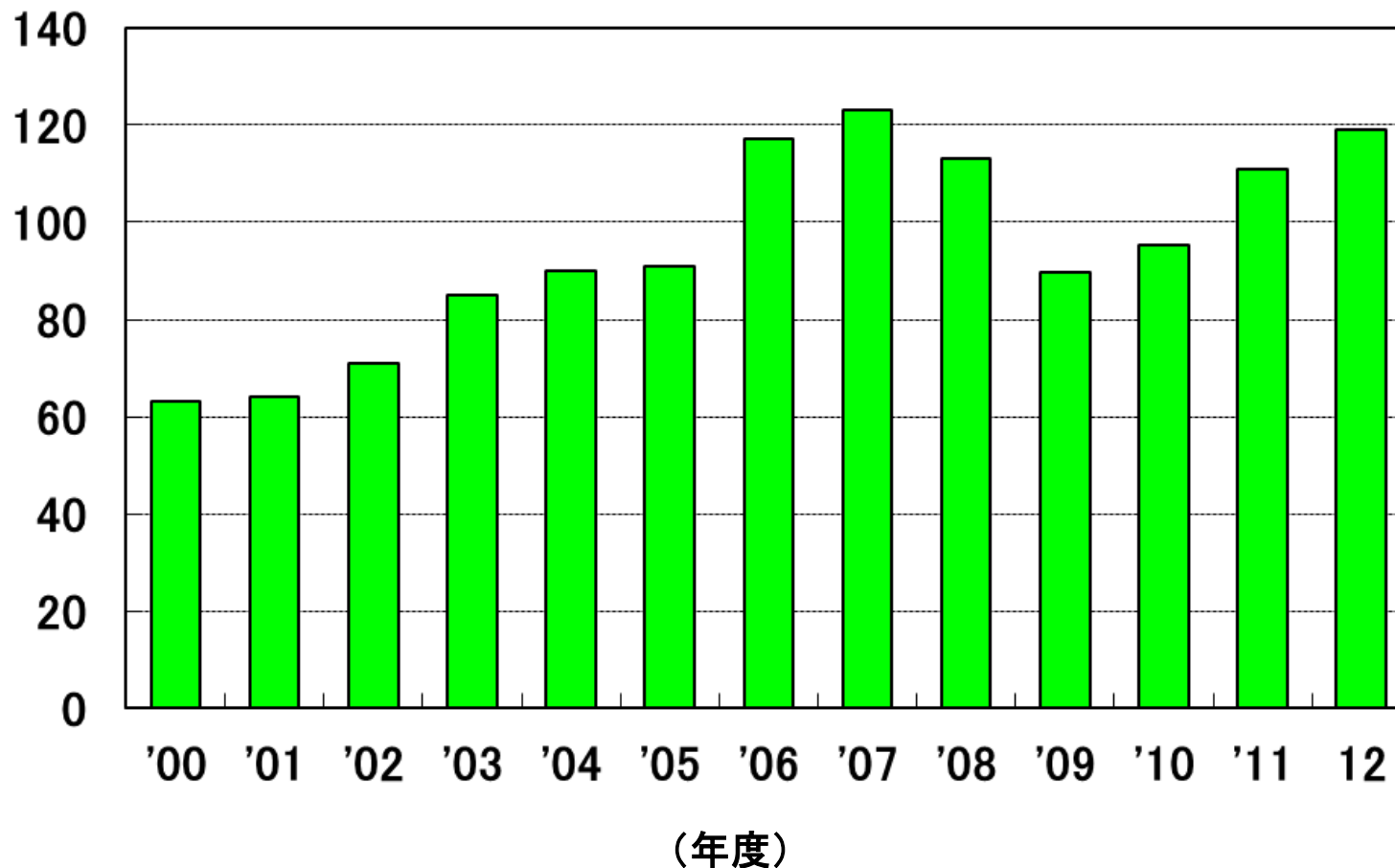


(出典:単層CNT融合新材料研究開発機構)

研究開発費の推移

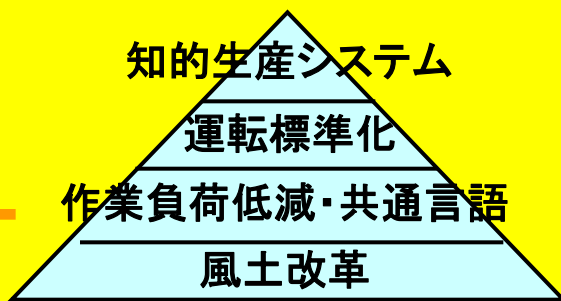
(億円)

連結研究開発費推移



コスト競争力の向上

【生産革新】※



トップダウン
で推進

ゼオンのコスト競争力強化

ボトムアップ
で活動

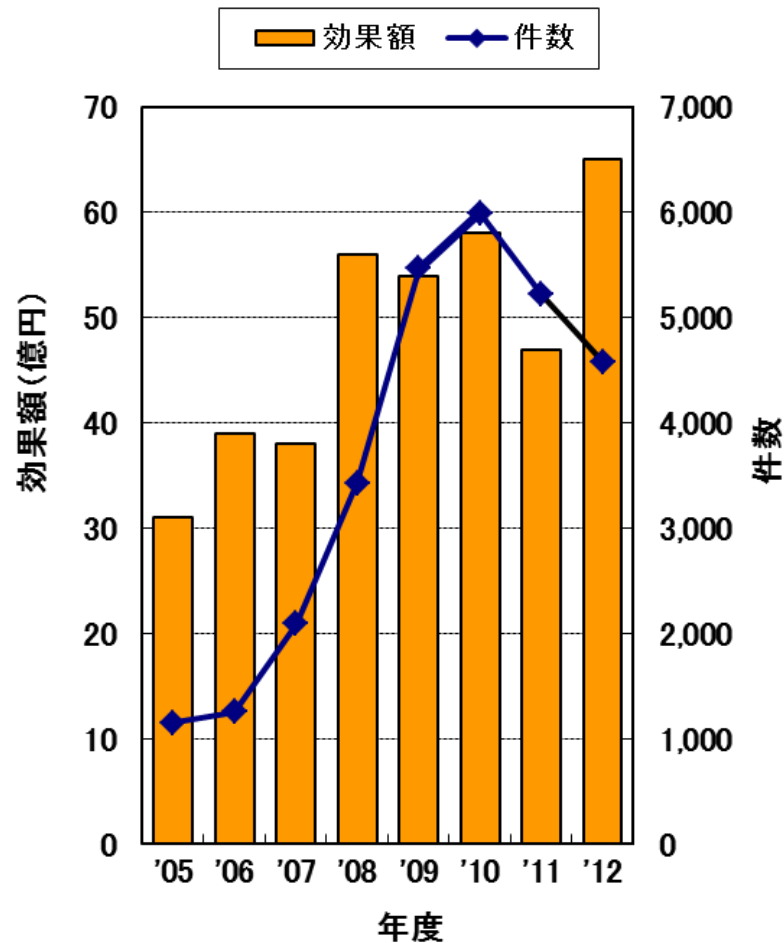
【ZΣ 活動】

- ★コストダウンテーマ
- ★サークルテーマ(小集団活動)
- ★コスト意識醸成・教育

※生産革新:ダイセル式生産革新手法

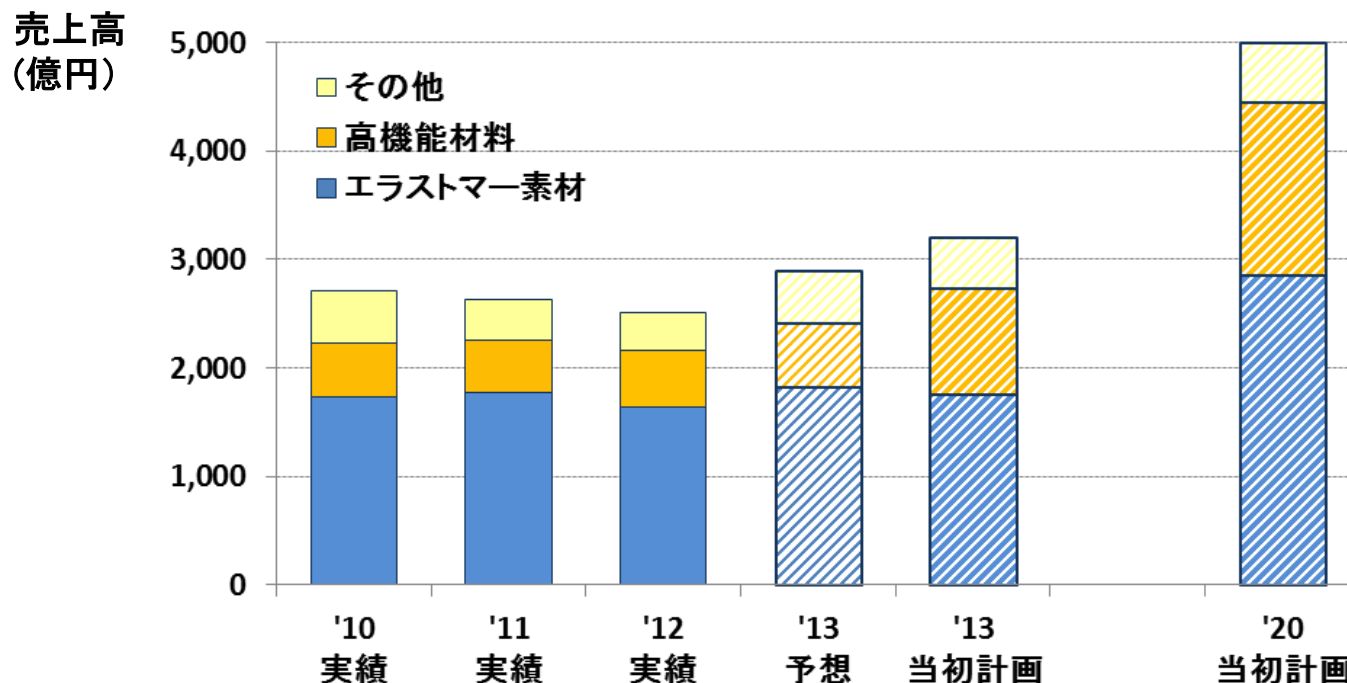
革新・改善活動を継続

ZΣ 活動 効果額・テーマ件数推移



テーマ化

2020年度 連結売上高5,000億円 を目指す



連結売上高

(億円)

| '10年度 | '11年度 | '12年度 | '13年度 予想 当初計画 | | '20年度 当初計画 |
|-------|-------|-------|------------------|-------|---------------|
| 2,704 | 2,628 | 2,508 | 2,900 | 3,200 | 5,000 |

設備投資額

(億円)

| '10年度 | '11~'20年度累計 |
|-------|-------------|
| 103 | 3,200 |

スピード

対話

社会貢献

-仲間との相互信頼-

以 上

本資料に掲載されている当社の計画、見通しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

日本ゼオン株式会社 CSR統括部門 広報室
東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル
Tel:03-3216-2747, Fax:03-3216-0501